

## 前期基本計画 平成29年度 政策方針評価書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

<b>担当部長職・氏名</b>	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 太田 城人

**1. 政策の平成29年度までの実現状況を明らかにする**

**(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）**

	少子高齢化の進展に対応した暮らしやすい生活基盤の整備・維持管理について、子供から高齢者まで安心して安全に暮らし、交流することで生きがいを感じることができるひとにやさしく安心・快適で活力にあふれるまちとなること。
--	---

**(2) 政策目標値の達成状況**

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	75.9	76	76.7	77.4	78	78.5	D	
			74.1	74.3	74.1	-	-	△69.2	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	B	
			72.3	78.3	74.6	-	-	11.4	
	単位								

**(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況**

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 04010000 都市づくりビジョンの策定 住民基本台帳（9月末）による人口 単位 人	55,174	55,500	55,500	56,000	56,500	56,500	E	
			55,184	55,174	55,164	-	-	△0.8	
2	幸福 04010000 都市づくりビジョンの策定 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	A	
			61.9	62.8	67.4	-	-	63.4	
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	74.6	-	-	11.4	
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	A	
			49.3	53.9	65.8	-	-	414.9	
5	暮らし 04030000 利用しやすい交通網の整備 市内のバスや電車は便利で利用しやすいと思っている人の割合 単位 %	35.1	35.1	36	36.5	37.5	38	D	
			31.7	30.9	32.4	-	-	△93.1	
6	幸福 04030000 利用しやすい交通網の整備 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %	46.3	47	48	49	50	51	A	
			49.3	53.9	65.8	-	-	414.9	

## 前期基本計画 平成29年度 政策方針評価書

政 策： 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

<b>担当部長職・氏名</b>	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 太田 城人

**(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況**

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成26年度	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値 平成31年度	進捗状況 進捗率(%)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
7	暮らし 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	1	1	1	1	1	1	C	
			1	0	2	-	-	0.0	
8	幸福 04040000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	74.6	-	-	11.4	
9	暮らし 04050000 持続可能な水道経営 経営資本営業利益率 単位 %	1.9	1.9	1.9	1.9	1	1	D	
			1.97	1.39	1.57	-	-	36.7	
10	幸福 04050000 持続可能な水道経営 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	74.6	-	-	11.4	
11	暮らし 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市の水道水がおいしいと感じている人の割合 単位 %	68.1	70	71	72	73	73.5	A	
			70.8	75.4	75.5	-	-	137.0	
12	幸福 04060000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	74.6	-	-	11.4	
13	暮らし 04070000 効率的な污水处理施設の整備 水洗化率(行政区域内人口に対する合併浄化槽も含めた水洗化率) 単位 %	76.7	77.5	78.5	79.5	80.4	81.3	A	
			82.5	84.5	85	-	-	180.4	
14	幸福 04070000 効率的な污水处理施設の整備 滝沢市に愛着を持っている人の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	C	
			72.3	78.3	74.6	-	-	11.4	
	単位								
	単位								
	単位								
	単位								

## 前期基本計画 平成29年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

担当部長職・氏名	都市整備部長 齊藤 和博
	上下水道部長 太田 城人

## 2. 政策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通のマスタープランである、公共交通網形成計画を策定し公表しました。</li> <li>滝沢スマートインターチェンジについて、平成31年3月完成・供用開始をめざしネクスコ東日本と連携し事業の推進を図りました。</li> <li>準用河川仁沢瀬川予備設計に取り組みました。</li> <li>水源及び水質管理の徹底により安全な水を供給するとともに、水道施設の老朽化及び耐震対策を進めました。</li> <li>簡易水道施設の更新整備が完了し、平成30年4月1日をもって簡易水道事業を上水道事業と統合しました。</li> <li>市街化区域内の下水道整備を推進するとともに、公共下水道事業計画の変更を行いました。</li> <li>浄化槽設置に係る補助金、利子補給等の助成制度により浄化槽の普及促進を図りました。</li> </ul>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土地利用ビジョンの策定、公表、関係機関との事前協議 ・ 地域公共交通網形成計画の策定と交通利用の利用促進、必要かつ実効性のあるバス運行の検討 ・ 道路維持ビジョンの策定 ・ スマートインターチェンジの安定的な財源確保と事業推進 ・ 空き家対策に向けた実態調査と対策の推進、市民・議会への進捗状況の説明 ・ 上下水道料金徴収業務委託の円滑な実施 ・ 合併処理浄化槽の普及のための助成制度の周知</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通網形成計画を策定し、利用促進の取り組みを進めました。</li> <li>空き家の現調査状況について、議会産業建設常任委員会に対して説明を行いました。</li> <li>委託による課題や問題点等の把握に努めながら逐次業務の改善に取り組み、円滑な業務の実施が図られました。</li> </ul>	

## 3. 政策の実現に向けて平成29年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業における国からの財源確保</li> <li>水道事業の広域化の検討に向けた「盛岡広域ブロック検討会」の設置</li> </ul> <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川災害に対する対応</li> </ul>	

## 4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度で完了する事業もあること、また、厳しい財政状況もあることから事業の優先順位付けを行いながら、市民の求めるニーズを調整し進める必要があると考えます。</li> <li>水道事業前期経営計画の検証を行い、その結果を踏まえて後期経営計画（H31～H34）を策定し、その計画に基づき各施策等の展開を図ります。</li> <li>費用対効果及び住民ニーズに基づき公共下水道整備に係る将来計画について検討します。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備計画、道路維持管理計画の更新</li> <li>後期経営計画に基づく水道施設の老朽化対策・耐震化の推進、及び継続的な事業の効率化と人材育成への取組</li> <li>アセットマネジメントによる下水道施設維持管理の効率化・平準化、及び事業経営の安定化に向けた取組</li> </ul>	

